

第5次基本計画策定専門調査会 地域WG（第1回）意見書

2020年1月27日（月）

株式会社経営共創基盤
代表取締役 CEO 富山和彦

- ・ 地方創生と女性参画・活躍は同じコインの表裏
 - －コンパクトな地方中核都市は、本来は女性が働きやすく生きやすい生活環境
 - －通勤環境、住宅コスト、子育て環境の優位性
 - －共働き率は高いのだが・・・

- ・ 問題は地方における企業の古さ、経営者の古さ
 - －地方産業の中心は今や非製造業であり、そこで男女の条件差はない
 - －今後、テクノロジー活用や働き方改革の進展でますます条件差はなくなる
 - －しかし、男子正社員≒中核社員、年功秩序による人事管理が前提の昭和モデルの虜

- ・ 改革の方向性
 - －ジョブ型雇用モデルへの転換
 - －キャリアパス複線化への転換
 - －隗より始めよ

- ・ 政策手段
 - －中小企業にも積極的差別撤廃措置の導入・・・ガツンと頭を殴る
 - －やるなら取締役や管理職から
 - －同一賃金同一労働の超厳格適用
 - －転職やキャリア中断で不利になる社会諸制度の撤廃、中立化
 - －中堅企業には乳幼児連れ出勤を認めさせ、同時に職場に託児所整備を義務付ける等

- ・ 決心覚悟
 - －かかる義務についてこれられない企業には退出してもらおうと腹をくくる
 - －地域経済にあまり弊害はなく、むしろ女性の大都市流出を止めることの効果大
 - －より根本的には地域の中堅、中小企業及び経営者の新陳代謝を加速する覚悟